

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

東予の水どころ

～周布 水郷の碑～

周布公民館の東に、元愛媛県知事白石春樹氏によって書き表された「水郷の碑」が建っています。周布地区は中山川の伏流水が豊富で、古くから肥沃な土地として栄え、弥生時代からの遺跡も多数発見されています。崩口川や大曲川など地区を流れる河川は、年中絶



▲北条新田のうちぬき

えることなく湧き水が流れています。これらの川の下流域では「うちぬき」も多数見られます。

しかし昔は水害も多く、台風のと きなどは農地や道路が

冠水するなどしていたため、昭和24年に崩口川の河川改修が始まりました。この工事が出た残土で中山川の廃河川敷50町歩を埋め立て、農地を造成するという一石二鳥の事業も行われました（吉田開田）。その後、上流の本郷川も改修が行われ、3.5キロメートルに及ぶ大業が完成。先人の遺徳をしのび、永く後世に伝えるため、昭和61年にこの石碑が建立されました。

また、東予高校の南には中央水源地があり、周布地区の豊富な地下水が旧壬生川町地区の水道水を賄っています。



▲水郷の碑

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

新緑の季節は鞍瀬地区へ

～新緑狩りとこいのぼり～

今年も約50匹のこいのぼりが、4月下旬から丹原町桜樹地区鞍瀬川の水面を泳いでいます。国道11号を明河方面へ入り、鞍瀬川に沿って新緑のトンネルを抜



▲色鮮やかなこいのぼり

ると、色鮮やかなこいのぼりの群れが楽しげに舞って、訪れる人々を歓迎してくれます。

このこいのぼりは、平成8年に当時の鞍瀬地区長だった佐伯幸男さん（現・鞍瀬老人ク

ラブ会長）が過疎に悩む鞍瀬地区の名所にと始めました。初めて数十匹のこいのぼりを揚げたとき、新緑とつつじにこいのぼりが映えて、それはそれは豪華だったそうです。

それから20年、佐伯さんは毎年こいのぼりを揚げてきました。台風でこいのぼりが飛ばされたり、手伝ってくれる人が年々少なくなったり、朝晩には夜露に濡れないようにこいのぼりを片づけたりと、大変なことも多くあります。それでも毎年、こいのぼりを揚げることをとても楽しみにしているそうです。佐伯さんの思いはたくさんの方へ届き、今や鞍瀬地区の風物詩となっています。

皆さんのお宅に眠っているこいのぼりも一緒に泳がせてみませんか？

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

大規模災害に備えて!!

～愛媛県の広域防災拠点～

小松中央公園と石鎚山ハイウェイオアシスが広域防災拠点になっていることをご存じですか。

昨年3月、南海トラフ巨大地震など大規模災害発生時に、県内外からの人的・物的支援などを受け入れる際の中心となる広域防災拠点が県内で17カ所選定され、市内では小松中央公園と石鎚山ハイウェイオアシスの2カ所となりました。

進出・活動の総合的な拠点である小松中央公園は、消防や警察などの各救助機関が集結し、被災地に必要な人や物を送り込みます。公園内の憩いの広場に設置している防災倉庫には、災害時に備えて資機材が整備

されています。

一方、石鎚山ハイウェイオアシスは、進出・活動拠点としての機能に加えて、交通の利便性を生かした物資拠点も兼ねているため、食料や飲料水などの支援物資を受け入れて保管し、被災地へ配送するための拠点にもなります。

災害発生後、刻々と変化する被災地のニーズに対応できる心強い拠点を期待しています。



▲備蓄している防災拠点用資機材